

【特別会計・企業会計】

単位:千円

区 分	平成28年度末現在高	平成29年度償還額	平成29年度借入額	平成29年度末現在高
住宅新築資金等貸付事業特別会計	3,681	1,159	0	2,522
国民健康保険診療所特別会計	3,000	0	900	3,900
農業集落排水事業特別会計	448,688	43,128	0	405,560
浄化槽市町村整備推進事業特別会計	116,478	8,107	9,600	117,971
ニュータウン鬼北の里特別会計	36,900	0	0	36,900
水道事業会計	2,614,494	210,739	0	2,403,755
病院事業会計	141,937	11,087	0	130,850
合 計	3,365,178	274,220	10,500	3,101,458

基金（一般会計）

単位:千円

基金名	平成28年度末現在高	平成29年度増減高	平成29年度末現在高
財政調整基金	1,981,946	△7,974	1,973,972
減債基金	384	0	384
土地開発基金	(うち現金 68,319) 305,319	(うち現金 △35,922) △35,922	(うち現金 32,397) 269,397
庁舎建設基金	87,400	54	87,454
地域福祉基金	323,800	0	323,800
地域振興基金	630,000	△18,000	612,000
交流促進事業基金	300,000	0	300,000
廃棄物処理施設整備基金	389,683	△21,259	368,424
公共施設等整備管理基金	0	300,000	300,000
ふるさとほく未来基金	0	27,000	27,000
その他特定目的基金	447,738	46,026	493,764
合 計	4,466,270	289,925	4,756,195

基本財産

土地	10,476,118.54㎡
建物	103,076.86㎡
有価証券	230,897,000円

一時借入金状況

単位:千円

一般会計	0
特別会計	0

平成29年度決算に基づく鬼北町財政健全化判断比率及び資金不足比率について

地方公共団体の財政健全化に関する法律により財政健全化判断比率と資金不足比率を公表します。

【健全化判断比率】

単位:%

項目	説明	29年度	28年度	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	普通会計の実質赤字が標準財政規模に占める割合	—	—	15.00	20.00
②連結実質赤字比率	全会計の実質赤字が標準財政規模に占める割合	—	—	20.00	30.00
③実質公債費比率	一般会計等が負担する借金返済額(企業会計、一部事務組合を含む)が標準財政規模に占める割合	7.0	8.6	25.0	35.0
④将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき債務(企業会計、一部事務組合、地方公社、三セクを含む)標準財政規模に占める割合	—	28.9	350.0	

健全化判断比率については、いずれも低いほど財政状況が健全であるといえます。

①、②とも黒字であったため、「数値なし」

③は、イエローカードと呼ばれる早期健全化基準と比較するとこれを下回っており、前年度と比較すると改善しています。

④は、将来負担額がマイナスとなったため、「数値なし」

【資金不足比率】

項目	29年度	28年度
水道事業会計	—	—
病院事業会計	—	—
農業集落排水事業特別会計	—	—
浄化槽市町村整備推進事業特別会計	—	—

資金不足比率については、地方公営企業法適用、非適用いずれの会計も資金不足は生じていません。

